

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	人権交流センター	所在地	須坂市大字小山番1264地4	写真	
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権同和・男女共同参画課		
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)	424.56		
居住誘導区域	該当	防災関連施設	避難所指定		
設置根拠	須坂市人権交流センター条例	設置の目的・経緯	隣保事業を推進するとともに、人権を尊重し市民相互の交流を促進させるため。(須坂市人権交流センター条例趣旨より)	交通アクセス	須坂駅から車で10分
事業内容	人権学習会の開催等	貸付の有無	有		
管理運営の状況	直営	委託内容	館内清掃業務		
備考 (その他特記事項)					

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	建築面積		延床面積	424.56
構造 (主たる建物)	S造		建築年度 (主たる建物)	1978	築年数 (主たる建物)	46	
取得価格	101,054,800		耐震化の状況		耐震改修済み		
帳簿原価	95,019,600		バリアフリー対応		スロープ、段差解消、トイレ設置		
減価償却累計額	54,497,404		省エネルギーの対応状況		照明のLED化		
老朽化率	57%		施設の劣化状況				

3 施設コスト

単位（千円）

		2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
費用	人件費	5,058	5,346	4,807	5,070	-5%
	委託料	76	80	403	186	116%
	光熱水費	812	703	695	737	-6%
	維持補修費		51	273	162.0	69%
	減価償却費	530	530	530	530.0	0%
	指定管理料					
	その他					
費用合計		6,476	6,710	6,708	6,631	1%
収入	利用料等収入	8	8	8	8	0%
	国庫補助金等収入	2,948	3,003	3,034	2,995	1%
	その他					
	収入合計	2,956	3,011	3,042	3,003	1%
収支		-3,520	-3,699	-3,666	-3,628	1%
利用者一人当たりコスト		1.83	1.89	2.41	2.02	20%

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額	57,487	内容	2012年度 耐震化工事
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	地域住民、部落解放同盟関係者	
開館時間		午前9時～午後10時
	休日	午前9時～午後10時
休館日	12月29日から翌年1月3日まで	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	3,537	3,542	2,780	3,286	-15%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用日数	225	224	188	212	-11%
年間利用可能日数	359	359	359	359	0%
稼働率	63%	62%	52%	59%	-11%

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	人権交流センター
-----	------	----------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	合計	-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	合計	-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
	合計	3	

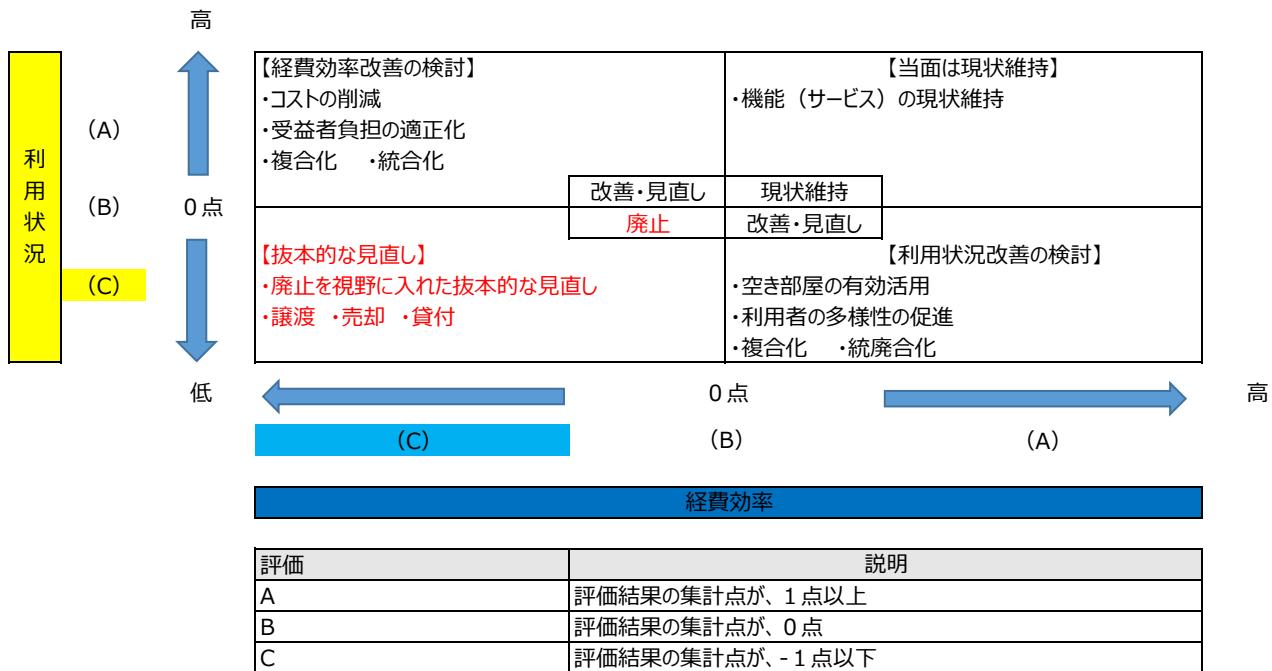
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-1
縦軸	必要性による評価	-1
	合計点数	-2

【抜本的な見直し】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	3 横軸
縦軸	必要性と経費効率からの評価	-2 縦軸
	合計	1

【複合化等の検討】

